

校歌作詞者安積得也さんの言葉より

校長 野口 祐人

昭和54年3月2日の本校体育館落成式に寄せていただいた安積得也さんのごあいさつ原稿が校長室にあります。今年度は、コロナの影響で一度も全校で校歌を歌う機会がありませんし、1年生はみんなで歌った経験が一度もなく学校生活を送っています。ですから、今回の学校だよりは、紙面を利用して、校歌作詞者の思いを紹介します。1年生から3年生まで、改めて本校校歌に込められた思いにふれてみてください。

(前略)

皆さん、幸手西中学校校歌について説明を申し上げる前に、重要な考え方を一言はっきりと申します。それは、この校歌は今や作詞者安積の手を離れて、安積にはどうにもならない「あなた方のもの」となったという事実です。こうなった以上、安積自身の考え方はそれとして、もっともっと大切なことは、生徒諸君一人一人がこの校歌をご自身のものとして、自ら歌い、自ら自由に考え、自ら味わい、自らの思考として、より深く、より広く、より高く自分の今後の人生に展開させてもらいたいということであり、これが一番の重要事なのです。

この一言をはっきり申し終わったので、私の肩の荷がずっと軽くなりました。これから気楽な気持ちで、作者としての私の心持ちや考え方を素直にお話ししましょう。

この校歌の中には、三つの大きな願いが込められているのです。

第一は『道の国日本の力となろう』との願い。

第二は『宇宙船地球の支えとなろう』との願い。

第三は『善循環基地の泉となろう』との願い。

(略)

第一の願い。道の国日本の力となろう。

皆さん、我々の日本は、ただ日本人だけがたらふく食べられ、富み栄え、文化的な幸福を楽しみさえすれば、それで人生のことは十分だと思い込んでいて良いのでしょうか。真剣に考えてみましょう。本当に真剣になって、どうだどうだと自問自答してみるならば、そのようなひとりよがりの利己一点張りの日本になってしまえば、断じて許すわけにはいきません。自分も許さないし、他人からも許されません。

人間だけが持っている貴いもの、すなわち人類独特の道徳的能力というものは、思いやりと助け合いとですね。だからこそ私たちは、愛する日本が「道の国日本」であることを心の底から祈ります。(※「道の国日本」の「道」とは「道徳」の「道」のようですね。つまり、「道の国日本」は、「道徳の国日本」ということなのでしょう)

(略)

第二の願い。宇宙船地球の支えとなろう。

皆さん、私たちの住んでいる地球は、月の四倍ほどの一つの天体に過ぎません。地球という小さな美しい惑星の上に、今四十億の人類が生きています。人間様一人一人は、一人一人が生きる目的の主人公として、それぞれの生きがいを求めているのです。すばり、かけがえのない存在です。そうです、その四十億人の乗組員が、宇宙船地球号に乗り合っているのです。我々幸手西中生こそは、世界平和の力強い祈り手となって、宇宙船地球号の支えとなろうではありませんか。

第三の願い。善循環基地の泉となろう。

(安積さんは、昭和27年夏に、イギリスオックスフォード大学で開催された世界フレンド大会に招待されたそうです。2千人が集まったこのフレンド大会で、世界に向けてのメッセージを作る3人の委員の一人に選ばれ、安積さんが主張した「一悪循環を断絶せよ」という言葉が力強く採用されたそうです。)

皆さん、この言葉の精神を皆さんの若い心で受け止めてください。そして、具体的に考えてください。例えば、バスの中の優先席を譲り合うこと一つについても、皆が勇気を出して、悪循環をストップし、善循環スターターとなることを心がけようではありませんか。それが、善循環基地の泉となることでありま

す。

皆さん、終わりに一言。

アーム、ラポール、エスペールという折り返しの言葉について、簡単に解説を加えておきます。これは、「愛せ、働け、望め」という意味のエスペラント語です。国際補助後としてのエスペラント語の創始者ザメンホフ博士（1859～1917 ポーランドの眼科医）の合い言葉「アーム、ラポール、エスペール」は、人類永遠の励ましの言葉としてふさわしく、私は幸手西中の校歌の雰囲気ピッタリと思われまますので、これを折り返しの言葉として選びました。

（後略）

### 【新人体育大会結果】

#### ☆祝 新人・久喜幸手地区予選優勝！

女子柔道部が、新人体育大会地区予選会において、団体戦で優勝しました。11月9日（月）、10日（火）に行われる県大会に出場します。2年樋口結愛、2年竹内春菜、2年小倉愛美。2年竹内春菜は個人戦でも優勝し、県大会に出場します。（敬称略）

サッカー部が、新人体育大会地区予選会において、優勝しました。11月5日（木）に行われる県大会に出場します。1年安達圭哉、1年小林優冬、1年山本悠太、1年酒井莉希、1年得本優空、1年翠千宙、2年下山天、2年藤岡真翔、2年松本真羽音、2年衣川弘晃、2年瀬尾真登、2年角田朝陽、2年三浦信、2年宮本萌衣、2年田邊悠樹、2年山中虎太郎、2年河野陽太郎、2年原田強、2年宮杉竜之介（敬称略）

北葛駅伝大会においては、幸手市で男女アベック優勝しました。11月7日（土）に行われる県大会に出場します。

男子：3年田辺光太郎、3年鈴木隼人、3年伊藤翼、3年伊藤夢大、3年濱優希、2年田邊悠樹、2年山下光輝、2年中島蒼大、1年研谷蒼葉（敬称略）

女子：2年篠崎美唯、2年吉野梨瑚、2年小野寺花夏、1年阿部汐里、1年高澤結衣、1年曾福くらら、1年丸山花暖、1年大山咲季（敬称略）

（※ 女子は、北葛駅伝全体で完全優勝「1区から 全区間1位」でした。）

#### ☆県大会に出場しました！

陸上部、10月9日（金）、10日（土）に行われた県大会に出場しました。男子400m 1年菅谷晴希、男子800m 1年須釜悠喜、女子1500m 1年阿部汐里、男子3000m 1年研谷蒼葉、女子走り幅跳び2年竹内春菜（敬称略）

### 【3年生修学旅行、1年生スキー教室について】

令和2年10月20日、第1・3学年保護者様宛にお知らせしましたが、3年生の京都・奈良への修学旅行は中止とし、代替校外行事（日帰り、もしくは1泊）を実施する予定としました。また、1年生の令和2年度のスキー教室は延期とし、令和3年度に実施する予定としました。

3学年保護者の皆様のご意見、新型コロナウイルス感染症への様々な対応等について熟考し、決定した次第です。ご理解くださいますようお願いいたします。

### 11月の予定

月日	曜	行事	部活動
11/1	日		
11/2	月	開校記念日	
11/3	火	文化の日	
11/4	水	後期時間割開始	×
11/5	木		○
11/6	金		○
11/7	土	県駅伝大会	
11/8	日		
11/9	月		×
11/10	火		○
11/11	水	木曜授業	○
11/12	木	水曜授業、1年学年体育祭	○
11/13	金		○
11/14	土		
11/15	日		
11/16	月	全校三者面談	○
11/17	火	3年進路写真撮影	○
11/18	水		×
11/19	木		○
11/20	金		○
11/21	土		
11/22	日		
11/23	月	勤労感謝の日	
11/24	火		○
11/25	水		×
11/26	木		○
11/27	金		○
11/28	土		
11/29	日		
11/30	月	2年学年体育祭	×

#### 【善泉賞メーター】

228枚発行（令和2年10月29日現在）

推薦者内訳

生徒	120枚
教員	106枚
市教委	4枚
地域の方	3枚